



かけはし

宇部市立楠中学校だより 第1号

令和8年(2026年) 4月10日(金)

<http://www.ube-ygc.ed.jp/ksj/>



「かけはし」という名称について

「かけはし」という名称の学校だより、今年度もその名称を引き継いでいきます。「かけはし」には、保護者・地域のみなさんへ、小学校でしっかり生き方を学んできた子どもから、中学校では生き方を伝えていく自立した「すてきな大人」へ成長していく様子を届ける「かけはし」になればという思いや願いを込めています。

学校だより「かけはし」を楽しみにしていると言っていただける方が少しでも増えるよう、楠中生の成長の様子を届けていきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひします。

「すてきな大人へ」成長していくためには・・・

新2・3年生へ

【1学期始業式校長式辞から】

「進級おめでとうございます」今日から令和8年度がスタートします。ここにいる全員、ひとつ学年が上がりました。楠中生みんなの顔を見ていると、今日の始業式を節目として「よしやるぞ」「がんばるぞ」という気持ちが伝わってきて、とてもうれしい気持ちになります。

セイコーのコマーシャルに、かつて次のようなものがありました。

空を飛びたいから 飛行機が生まれた
会えないから 電話が生まれた
孤独だから 歌が生まれた
何かのせいにして そこに止まることは簡単なこと
何かに迷った時は 辛いこと 難しいことのほうを選ぼう
だってそれは 他の人がやらない可能性が高いから
最近 誰かがテレビで言っていた
「やらなきゃいけないことを好きになることだ」 いい言葉だと思った
さあ 変わろう

まさに今の君たちはそのような気持ちではないでしょうか。「自分を変える、バージョンアップするチャンス」です。令和8年度が君たちにとって、特別な年度になることを願っています。

午後から行われる入学式の式辞では「すてきな大人」について話します。昨年度から楠中学校の学校教育目標に「すてきな大人」というフレーズを入れました。君たちがこれから生きていく社会は予測困難な社会と言われています。ふるさと船木・万倉・吉部地区は人口減少・人口流出・少子高齢化などといった大きな地域課題を抱えています。

そんな社会においても、自分の志をもち、たくましく生き抜き、ふるさとを愛する人のことを「**すてきな大人**」と呼びます。君たちには「**すてきな大人**」になるために学習や感動体験を積み重ねてほしいと思います。

そのために、2年生、「**大丈夫!ついておいでと背中**で語れる先輩」であってください。後輩は、この1年、先輩の背中を追いかけてくるはずです。行動で示せるすてきな先輩であってください。

3年生、この1年を過ごせば、新しいステージに立つことになります。**中学校から高等学校への扉は、決して自動ドアではありません。**扉の前に立っているだけでは扉は開いてくれません。自分から動いていき、辛抱し、継続して努力していくしかありません。

先輩としての後ろ姿、ひたむきに努力する姿、そんな楠中生の姿をたくさん見たいと思います。楽しみにしています。

さあ、変わろう!やればできる!君たちならできる!

新入生へ 保護者・地域のみなさまへ

【入学式校長式辞から】

今日は「**すてきな大人**」へ成長するために、必要な4つの力についてお話します。

ひとつは、将来すてきな大人として必要な知識や技術を身に付けるための「**自ら学ぶ力**」

ひとつは、人を大切に作る温かい心、ルールを守りマナーを身に付ける社会性、仲間と力を合わせる協調性といった「**豊かな人間性**」

ひとつは、自分で決めたことや仕事・役割を「**最後までやり抜くたくましさ**」

ひとつは、人口減少・人口流出・少子高齢化などの地域課題に向き合い、ふるさとのまちづくりを考える「**ふるさとを愛する心**」

「**自ら学ぶ力**」「**豊かな人間性**」「**最後までやり抜くたくましさ**」「**ふるさとを愛する心**」これらは、予測困難な社会と言われるこれからの時代を「**生きる力・生き抜く力**」に繋がります。楠中学校では、それらを総じて「**楠中魂**」と呼びます。是非、そのことを胸に刻み、楠中生であることへの「**自覚と誇り**」をもって、これからの学校生活を送ってください。

小学校でしっかり生き方を学んできた君たちです。中学校では生き方を伝えていく自立した「**すてきな大人**」へ成長することを願っています。

本日より、みなさまの大切なお子様であり、地域の宝である新入生をお預かりします。全教職員、粉骨砕身、教育にあたり、ご期待に添えるよう努力いたします。

しかしながら、中学校時代は人の一生の中で最も「**知恵と体と心**」が成長する時です。時にはその成長が、アンバランスになることも予想されます。そこに、「**中学校教育の難しさ**」が潜んでいます。

教育は家庭と地域・学校の信頼と協力があって、はじめて効果をあげ、豊かな実りを得ることができると考えます。どうぞ私たち大人がスクラムを組み、コミュニティー・スクールとして**子どもたちを見守り、励ます**、ご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

すべては子どもたちのために、教職員がワンチームとなって、努力してまいります。
ご支援・ご協力よろしく願いいたします。